

SIIQ

PRESS

九州から世界を繋ぐ

2024/2025.

Vol.34

ver.1.1



一般社団法人
九州半導体・デジタルイノベーション協議会
Kyushu Semiconductor & Digital Innovation Association
愛称: SIIQ【シーク】



持続的な「シリコンアイランド九州」実現に向けて

特集1 「デジタル×グリーン」の実現に向けた挑戦

東京エレクトロン九州(株)

特集2 半導体産業の発展を支えるサイエンスパークへの取り組み

三井不動産(株)

INDEX

会長挨拶	3
------------	---

FEATURE | 特集1

「デジタル×グリーン」の実現に向けた挑戦

(東京エレクトロン九州株式会社)	4～8
------------------------	-----

FEATURE | 特集2

半導体産業の発展を支えるサイエンスパークへの取り組み

(三井不動産株式会社)	9～13
-------------------	------

SIIQ紹介	14～15
--------------	-------

活動報告	16～21
------------	-------

- ・ オープンイノベーション・モノづくり深化事業
- ・ コトづくり深化事業
- ・ 人材育成関連事業

2024年新会員のご紹介	22～25
--------------------	-------

会員一覧	26～27
------------	-------

事務局便り	28
-------------	----



ごあいさつ

一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会 会長

山口 宜洋

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 代表取締役社長

平素より一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会 (SIIQ) の事業運営にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

現在、九州の半導体および関連産業に対する投資は活発な状況が継続し、2030年までの経済波及効果は2023年に公表された額を上回り 23兆円と見込まれています。

このように九州は国内における半導体産業の最大の集積地として、その重要性がますます高まっています。



SEMICON台湾2024

足元ではEV市場の目先の需要に対してパワー系半導体の市場動向が注目されていますように、半導体産業は市場変化に対して敏感な特性がありますが、すべての産業の基盤であることから、長期的視点に立つことが非常に重要です。そのためにこのような九州の盛り上がりを一時的なものにせず、持続的な成長を続けることを目的に九州経済産業局と共同で九州半導体人材育成等コンソーシアムの活動を進めています。

2024年度の活動として、半導体人材の育成では高校・高専・大学への出前講義や教員向け研修会を通じた半導体の魅力を発信し、半導体に対する認識と興味を持って頂けるように半導体に「関心がある」から、半導体産業で「働きたい」という意欲に繋がるような様々な取り組みを進めています。

サプライチェーン強靱化では企業間交流会やバリューチェーンの強化策の検討を進め、半導体を支える皆様との関係構築や、様々な仕組みの連携、強化していくような取り組みを進めています。

また、昨年に引き続き「SEMICON台湾」で日本・台湾半導体技術国際シンポジウムを開催し、工業技術研究院 (ITRI) との間で半導体製造技術に関する連携の可能性を議論しました。これらの活動を通じて、九州と台湾の連携をさらに強化していきます。

今後も各地の特徴や強みを生かした半導体関連産業の集積が進み、さらに各行政・機関、アカデミア、各企業が垣根を越えて連携することで九州全域に半導体産業ネットワークが形成されます。

SIIQはこのネットワークを繋ぎ、エコシステム化する役割を果たしていきますので、引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

「デジタル×グリーン」の実現に向けた挑戦

東京エレクトロン九州株式会社

1 はじめに

半導体は今後、AIや自動運転、VRなど大規模な計算を必要とするアプリケーションがテクノロジードライバーとなり市場成長が見込まれている一方で、消費電力の増加に対応するため高速、大容量、高信頼性に加え、低消費電力を実現する革新的な技術が必要とされています。デジタル化と地球環境保全の両立（デジタル×グリーン）に貢献するために当社が半導体製造装置メーカーとして取り組んでいる技術や活動の一端をご紹介します。

2 会社概要

東京エレクトロン（以下TEL）が九州に進出したのは九州がシリコンアイランドと呼ばれるようになった1983年です。当時TELはそれまでの半導体製造装置の商社ビジネスから自社製品の開発・製造の拡充へ舵を切るタイミングで、お客様であるデバイスメーカーの近くに開発・製造を一体で行う拠点を設けるべく進出地を探していました。結果、お客様が多く立地している九州の中央部に位置するという地の利に加え、迅速な用地確保などの県庁を始めとする行政の多大なサポートが決



出典：TEL

め手となり熊本県に拠点を設けることとなり、これが現在の東京エレクトロン九州（本社：熊本県合志市、以下 当社）となっています。

当社はTELグループの開発・製造拠点としてコータ/デベロッパ（塗布現像装置）、サーフェスプレパレーション（洗浄）装置を取り扱っており、加えてウェーハレベルの貼り合わせと剥離を行うボンダー、デボンダーなど現在脚光を浴びているアドバンスドパッケージ分野に適用が期待される装置開発も積極的に行っています。塗布現像装置は世界シェアが約90%であり、世の中の半導体を支える存在として熊本から世界を見据えてチャレンジを続けています。

事業展望 （半導体/半導体製造装置市場動向）

近年、革新的な技術の実用化により社会のデジタル化がさらに加速され、情報処理を担うコンピュータ技術もさらなる進化を遂げています。インターネットを駆使したサービスやプラットフォームの拡大によるデータ通信量の増加とともに、今後はAIや自動運転、仮想現実（VR、AR、MR）など、大規模な計算を必要とするアプリケーションがテクノロジードライバーとなり、世界の半導体市場規模は、2030年には1兆米ドルを超え、半導体および製造装置を含む関連産業はこれからも力強く成長すると予想されています。

半導体の性能はこれまでも微細化や集積化によって向上してきました（Moore's Law）。大量のデータを高速かつ低消費電力で処理できるコンピュータ技術の実現のため、さらなる性能向上への要求が高まっており、Moore's Lawでは更なる微細化（More Moore）に加え、3次元実装などの高集積化に向けたアドバンスドパッケージ技術（More than Moore）の双方が求められています。またアプリケーションやサービスの多

半導体市場は1兆ドルの時代へ



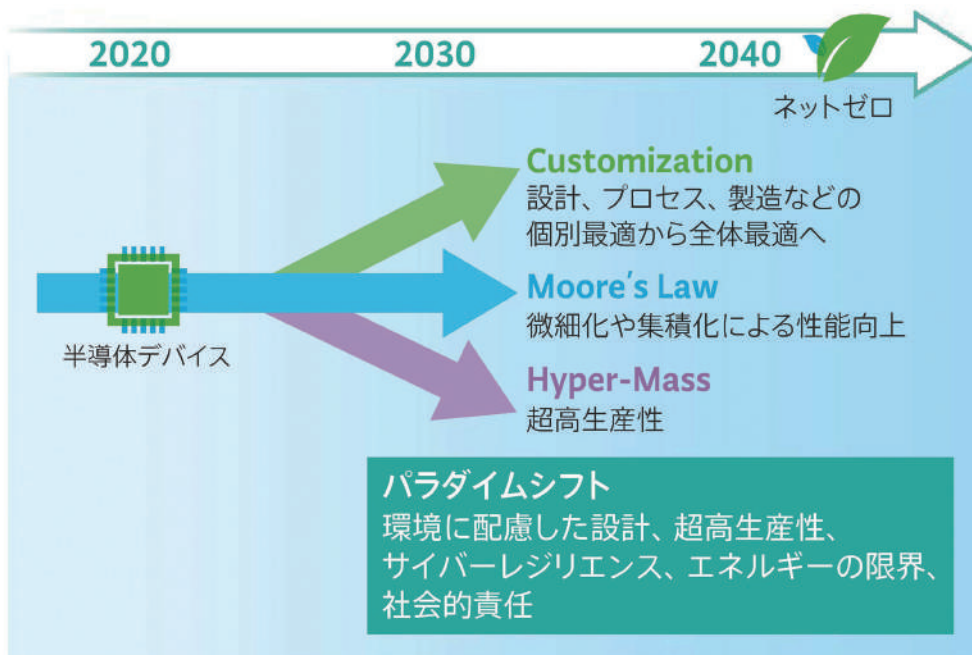
76年かけて出来上がった現在の市場規模のおよそ倍に成長
TEL

出典：1990-2023 (WSTS) / 2024-2030 (IBS, November 2024)

様化に伴い、半導体の設計や製造技術およびシステム全体を用途に応じて最適化していくことが要求されています (Customization)。さらに大容量のデータ通信やそれらの処理・解析には膨大な量の半導体が必要となり、コンピュータ技術の恩恵を誰もが享受できる世界を実現するためには規模の経済による半導体の低コスト化が必要です (Hyper-Mass)。

中期的には市場においてさまざまなパラダイムシフトが予想されますが、半導体製造装置メーカーにとっ

ては、微細化や集積化における技術およびコスト面での課題を解決すること、お客さまの多様な要望に対してそれぞれに最良のソリューションを迅速に提案すること、そして極めて高い生産性と環境負荷の最適化を実現する製造方法を提供することが、これからの価値創造における鍵となっていきます。



出典：TEL

半導体製造装置に求められる技術 (当社の取り組み事例)

①微細化におけるパターン倒れ防止技術

技術的な難易度の高さからこれまでより時間もコストもかかるようになってきているとはいえ、半導体の微細化の流れは止まりません。さらなる微細化の実現のためコンタミ(塵)の制御など様々な技術課題がありますが、ここでは当社で開発した超臨界乾燥技術のご紹介をいたします。

洗浄工程における乾燥プロセスでは、従来から表面張力の低いアルコールを用いた乾燥技術が採用されていますが、さらなる微細化の進んだ最先端半導体デバイスではパターン間のピッチが短くなること、および高アスペクト化により乾燥プロセスにおいてパターンが倒壊してしまうことが大きな課題の一つとされてきました。このような技術ニーズに応えるため、表面張力がゼロになり、パターン倒壊を起こさない超臨界流体を用いた乾燥技術を開発し、この乾燥技術を搭載した洗浄装置の製品をリリースいたしました。

②高集積化(アドバンスドパッケージ)における貼り合わせ・剥離技術

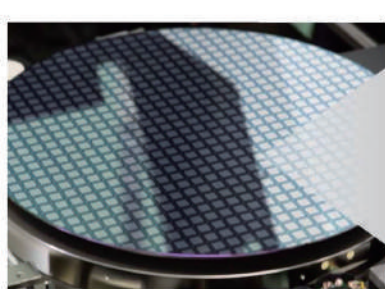
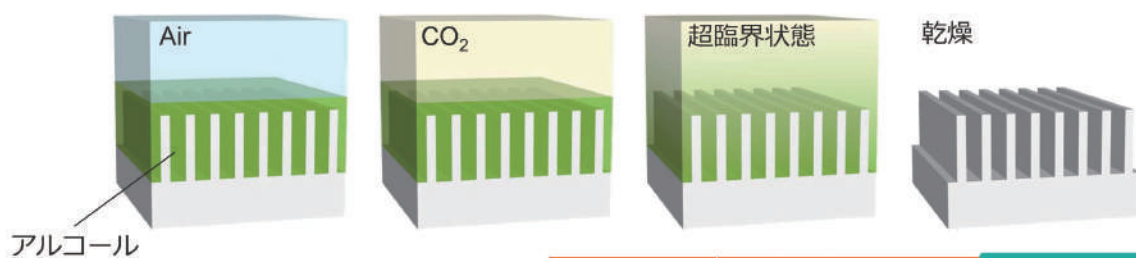
微細化に加え、半導体の進化の潮流として近年脚光を浴びているのがアドバンスドパッケージによる高集積化です。アドバンスドパッケージは、従来半導体製造の後工程で行われていた

パッケージングにおいて2.5次元や3次元といった水平方向や垂直方向に半導体の接続を行い、信号の高速化とエネルギー消費の低減を実現する技術です。

アドバンスドパッケージの一つとして注目を集めている技術が回路パターンが出来上がったウェーハとウェーハの貼り合わせ・剥離技術です。貼り合わせにおける接合精度は年々厳しくなっており数十nmといったレベルが求められていますが、当社が独自に開発したウェーハアライメント機構およびウェーハ接合モジュールを搭載し、技術課題をクリアしています。当社のウェーハレベルのボンダー、デボンダーはCMOSイメージセンサーや生成AIに不可欠なHBM(High Band Width Memory)の製造プロセスに採用されており、今後はBSPDN(Back Side Power Delivery Network)の生成プロセスへの応用等新しい技術に向けた開発を行っています。

また従来のウェーハレベルの貼り合わせに加え、チップとウェーハ、チップとチップの貼り合わせといったソリューションに対応した装置の開発も進めています。

超臨界乾燥技術



	従来の乾燥	TELの超臨界乾燥
Top View		
Side View		

超臨界乾燥技術によりパターン倒壊を抑制

TEL

出典：TEL

環境へのアプローチ

Net Zero

New target Scope 1, 2 & 3 by 2040

Scope 1&2: CO2 Emissions from energy use such as electricity in business activities

Scope 3 : CO2 Emissions from the use and disposal of sold equipment, material purchases and logistics, etc.



サプライチェーン全体で半導体の技術革新と環境負荷低減を推進

TEL

出典：TEL

環境において果たすべき役割 (デジタル×グリーン)

半導体業界には大きな成長ポテンシャルがある一方、課題となるのがコンピューティングにおける消費電力です。消費電力が現在のペースで指数関数的に増大し続けると、近い将来、需要が供給を上回り、世界で電力が不足する可能性があります。また、電力需要の高まりに伴い、温室効果ガスの排出量が増加することなどによる地球環境保全への影響が危惧されています。デジタル社会の発展には、半導体の大容量化、高速化、高信頼性だけでなく、環境負荷低減のための低消費電力化も同時に実現していく必要があります。

TELは半導体製造装置メーカーとして、デジタル化による社会発展と地球環境保全が両立した「デジタル×グリーン」の世界の実現に向けた貢献を使命と捉え、環境にフォーカスしたイニシアティブであるE-COMPASS(Environmental Co-Creation by Material, Process and Subcomponent Solutions)を展開しています。E-COMPASSでは、半導体、製造装置、事業活動の3つのテーマを中心にお客さまやパートナー企業さまと連携し、サプライチェーン全体で半導体の技術革新と環境負荷低減の実現を目指すことで、地球環境の保全に取り組んでいます。

またTELは、ウェーハ永久接合工程において不要なシリコンウェーハを除去する際に、当社が開発したレーザー剥離技術を用いることで、シリコンウェーハへの裏面研

削、研磨等の複数プロセスの削減が可能となり、「純水使用量を従来比90%以上削減」「ウェーハが再利用可能」となるUlucus™ LXを2024年12月にリリースいたしました。当社では既存の製造装置における電気、薬液、水などの消費量低減への取り組みなどと合わせ、このような環境負荷低減に向けた革新的な技術をもった装置開発を行っています。

加えて当社では事業所内で利用する電力の再生可能エネルギー比率100%を実現するなど事業所における環境活動も推進し、2040年でのネットゼロを実現するというTELグループ目標に貢献していきます。



Ulucus™ LX (出典：TEL)

Smart Manufacturingによる ものづくりの今後

今後、半導体製造装置市場の伸びと合わせて当社の生産量の増加が予想されますが、製造工程では単に人員や場所を増やすということではなく、生産技術をさらに進化させ、生産性を飛躍的に高めていくことを目指しています。具体的には、ロボットなどの機械作業を用いた省人化/自動化による効率化を図り、その機械作業や製造工程全体で得られるデータをMES (Manufacturing Execution System) の中で管理・分析・活用することにより、設計、生産管理、調達、物流、製造、立上げといった生産活動全体においてSmart Manufacturingの実現を目指していきます。

当社では生産のブロックアウト(外注)化を進めており、これまで同様パートナー企業やサプライヤーの皆様のご協力を仰ぎながら、世界トップレベルのものづくりを目指していきます。

7 おわりに

シリコンアイランドと呼ばれた九州は2000年代以降カーアイランドと呼ばれる状況となっており、現在でも製造業出荷額では自動車関連産業がトップです。一方自動車もEV化や自動運転技術により半導体搭載量が増加し「動くスマホ」と呼ばれるようになっており、これまで以上に半導体関連産業との親和性が高まっています。自動車関連産業と半導体関連産業がより結びつきを強くすることで、九州全体をさらに盛り上げていけると感じています。その盛り上がり貢献すべく、当社も一役を担ってきたいと考えています。

どのような状況でも経済活動が止まらない、強くしなやかな社会の構築に向けて、デジタル化と地球環境保全に向けた脱炭素が世界の潮流となっています。当社はTELグループの拠点として、半導体製造装置メーカーとしての専門性を生かし、付加価値の高い最先端の装置と技術サービスを継続的に創出します。そして「半導体の技術革新に貢献する夢と活力のある会社」というビジョンのもと、社会における役割と責任を確実に果たすべく、デジタル化と地球環境保全(デジタル×グリーン)の実現に寄与していきます。

Technology
Enabling Life

TEL

東京エレクトロン九州

半導体産業の発展を支えるサイエンスパークへの取り組み

三井不動産株式会社

1 三井不動産の街づくり

(1) 三井不動産の歩み

三井不動産グループは、創立以来、まちづくりを通じて『社会課題の解決への挑戦』と『新たな価値創造』を行ってまいりました。戦後の高度成長期を支えた埋立事業や、日本初の超高層ビル「霞が関ビルディング」をはじめとしたオフィスビルは、業務環境を向上させ企業活動を支えてきました。物流施設事業においては、物流用途に加えて、オフィスや研修施設、産業支援施設などの複合型の新産業拠点の創出や環境創造型事業として、また地域と連携した拠点の創出などの物流ビジネスを推進しています。

人々の暮らしを豊かにする住宅、商業施設の開発へも進出。1971年に竣工した日本初の高層マンション「三田綱町パークマンション」はその後の超高層住宅による新たな環境価値創造の礎となりました。1981年には日本初のアメリカ型ショッピングセンター「三井ショッピングパーク ららぽーとTOKYO-BAY」を千葉県船橋市に開業。2022年には福岡に九州初のららぽーと「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」を開業し、国内だけではなく、台湾など海外にも展開しています。また、ハレクラニ沖縄や三井ガーデンホテルなどのホテル・リゾート、東京ドームなどのスポーツ・エンターテインメント事業も推進し、「場所」の提供を超えより豊かな暮らしを提供しています。

2000年代以降は様々なエリアにおいて都市再生へ挑戦。東京・六本木の「東京ミッドタウン」では、防衛庁跡地を働・住・遊・憩が融合する複合都市へと変貌させ、東京の国際都市としての競争力を高めています。

(2) 街からイノベーションを

三井不動産グループは、2024年にコーポレートメッセージ「さあ、街から未来をかえよう」を策定しました。不動産を貸すだけで

はなく、街づくりを通じ、そこに集う人々や企業がイノベーションを起こし付加価値を高めるお手伝いをし、社会に貢献することで、共に成長していくことを目指しています。「不動産デベロッパー」の枠を超えた、いわば「産業デベロッパー」という「プラットフォーム」として、これからも様々な環境変化・多様化する顧客ニーズに応じてまいります。



ハレクラニ沖縄



三井ショッピングパーク
ららぽーと福岡



東京ミッドタウン
写真提供：東京ミッドタウン



MFLP福岡



パークシティ浜田山

三井不動産の主な開発実績

イノベーションを起こす街づくり

(1) 柏の葉スマートシティ

2005年のつくばエクスプレス線の開業を契機とし、三井不動産グループが保有していた「柏ゴルフ倶楽部」の跡地を含めた約300haの街づくりがスタートしました。

2006年には、千葉県・柏市などの「公」、柏商工会議所・地元協議会・首都圏新都市鉄道・三井不動産などの「民」、柏の葉エリアに先端研究開発機関を有していた東京大学・千葉大学などの「学」が連携したUDCK（柏の葉アーバンデザインセンター）が開設され、街づくりを推進する拠点としてシンクタンク機能、コーディネーター機能、情報発信機能を担っています。

2008年には柏の葉街づくりの指針を定めた「柏の葉国際キャンパスタウン構想」が発表されました。その目標の一つでもあるイノベーションフィールド都市として、緑あふれる環境のもと、最先端の技術やアイデアを持つプレイヤーが集まり新しい未来に挑んでいます。

「世界の未来像」を作る街として社会が抱える様々な課題に対し、街をプラットフォームに、「環境共生」「健康長寿」「新産業創造」の3つのミッションを掲げ、様々な社会課題の解決に取り組んでいます。

現在では、スタートアップから大企業まで幅広い事業会社や、東京大学、千葉大学、国立がん研究センター、産業技術総合研究所などのアカデミア、や、自治体、諸団体などと地域の住民が柏の葉スマートシティで「共創」というキーワードのもと、ライフサイ



柏の葉スマートシティ

エンス、エネルギー、モビリティの課題などにおいて次々と画期的なプロジェクトを推進しています。

(2) 日本橋再生計画

三井不動産の創業の地でもある日本橋は、江戸時代には五街道の起点・水陸の要所の「日本の中心」であり、日本全国からあらゆる人・もの・ことが集まり、それらの交流により新たな産業や文化を生み出した非常にイノベティブな街でした。

その後の社会の変化により往時の活気を失っていた日本橋に賑わいとイノベーションを取り戻すために、官・民・地元が一体となり取り組んでいるのが「残しながら、蘇らせながら、創っていく」というコンセプトを掲げた「日本橋再生計画」です。

三井不動産グループでは、2004年竣工の「日本橋一丁目三井ビルディング(COREDOL日本橋)」を皮切りに、第2ステージにおいては「界限創生」「産業創造」「地域共生」「水都再生」の4つのキーワードに基づいたミクスユースの街づくりを推進。最先端のオフィスや商業施設をはじめ、ハイクラスホテルや文化施設、大規模な国際イベントも開催可能なカンファレンス施設などを整備してきました。現在の日本橋再生計画は第3ステージとして、第2ステージの取り組みを更に推し進めた様々な施策を推進しています。特に新産業創造の分野においては、日本橋ならではの産業創造として、江戸時代の薬種問屋街から繋がる「ライフサイエンス」をフィーチャー。2016年にはライフサイエンス領域のエコシステム構築を目指す「一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)」を設立。医学をはじめ、理学や工学、ICTや人工知能といった新たなテクノロジー等、あらゆる科学の複合領域であるライフサイエンス領域において、分野を超えた内外の人的交流・技術交流を促進しています。

その繋がりから生まれた新たな戦略領域が「宇宙」です。2022年には「一般社団法人クロスユース」を設立。宇宙産業への進出を目指す企業と、アカデミア、宇宙スタートアップ企業、自治体などの第一線の宇宙プレイヤー陣が交流し、共に日本の中長期的な宇宙産業の持続的な成長およびイノベーションの創出を目指しています。また2025年1月には日本橋の宇宙ビジネス拠点を拡張。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が入居し、総額1兆円規模の「宇宙戦略基金」を運営するとともに、宇宙に関連するVC、CVCなどの資金供給プレイヤーも集結し、資金面から宇宙ビジネスのイノベーションをバックアップしています。



LINK-J



日本橋スペースウィーク

日本橋におけるイノベーションの取り組み

熊本県における取り組み

三井不動産グループでは1990年代から熊本県においてオフィスビルやホテルの運営を行ってまいりました。

2020年4月から三井不動産を代表企業とした熊本空港の運営を行っており、2023年3月には国内線・国際線一体型の新旅客ターミナルビル開業、2024年10月には商業棟、広場、観光交流エリアからなる「そらよかエリア」をオープン。空港を、単なる交通施設を超えた「世界と地域をつなぐ交流拠点」と捉え、世界中から訪れる人々だけでなく地域の人々にも開かれた場として整備しています。空港利用者にとっても「世界で一番居心地のいい空港」を目指し、保安検査後も時間を気にせず熊本を楽しんでいただける滞在型ゲートラウンジを導入。その他セルフチェックイン機器やスマートレーンなど、最新鋭のファストトラベル機器も導入しています。また半導体企業の集積により更に増加しているビジネス顧客に向けたワーキングスペースの整備なども進め、世界中から熊本に訪れる観光やビジネスなどの様々な旅客のニーズに向け利便向上を図ってまいります。



第一ターミナル



そらよかエリア

阿蘇くまもと空港

また、2024年には、菊陽町が募集する(仮称)原水駅周辺土地区画整理事業における将来ビジョン具体化に向けた事業検討パートナーの1社に選定いただきました。半導体集積地としてふさわしい先進的な街づくりの将来像を描いた菊陽町の「将来ビジョン」の具体化において、当社のこれまでの街づくりにおける実績を活かしてまいります。



(仮称)原水駅周辺区画整理事業 イメージ図

サイエンスパークについて

サイエンスパークは、大学、研究機関、民間企業、スタートアップなどが集積し共に新技術やイノベーションを生み出し産業創造のエコシステムを創出することを目的とした産業集積です。世界中の様々な地域に存在し、地域の産業振興のみならず、国の経済成長の原動力となっています。

名称(都市)	主な大学・研究機関
RIDC (米国:ピッツバーグ市)	・カーネギーメロン大学 ・ピッツバーグ大学
DMC (米国:ロチェスター市)	メイヨークリニック
アイントフォーフェン・ ハイテクキャンパス (オランダ: アイントフォーフェン市)	企業研究開発部門 ・フィリップス ・IBM ・Intel ・ASML
新竹サイエンスパーク (台湾:新竹市)	・陽明交通大学 ・精華大学 ・工業技術研究院(ITRI)
沙崙グリーンエネルギー サイエンスパーク (台湾:台南市)	・陽明交通大学 ・成功大学 ・工業技術研究院(ITRI) ・国家サイバーセキュリティ研究院

主なサイエンスパーク例

台湾におけるサイエンスパーク

台湾では、国や自治体、民間などが設置し多くの企業を目的に合わせて集積した様々なパークがあります。その大半が日本の工業団地に相当する工業区と呼ばれるものですが、政府機関である国家科学及技術委員会(日本の科学技術庁に相当)が輸出を目的とした高度技術集約産業への経済政策の転換を図るために開発した「科学園區」をサイエンスパークと呼んでいます。

種別	科学園區 サイエンスパーク	工業区	科技産業園區 テクノロジー産業 パーク
開発主体	国家科学及 技術委員会	經濟部/ 地方自治体/ 民間企業	經濟部
個所数	16	221	12
特徴	集積回路、光電、精密機械などを中心とした6つの産業	經濟部の認可を得た後、工業区として指定され、台湾の工業用地供給の重要な源となる	電子部品を中心に、次い電子製品、でコンピュータ、光学製品の製造業
代表的なパーク	新竹園區 台中園區 台南園區	・頭份産業園區 ・臨海産業園區 ・台中精密科技産業園區 ・新竹AI智慧産業園區	・高雄軟體産業園區 ・楠梓科技産業園區

台湾の主なパークの種類

台湾のサイエンスパークは1970年代のオイルショックを契機に整備計画が進みました。1980年の「新竹科学園區」に続いて「中部科学園區」「南部科学園區」の3つのサイエンスパークが整備され、それぞれ特徴を持った産業集積が図られています。

	新竹	中部	南部
地域	新竹市周辺	台中市周辺	台南市・高雄市周辺
設立	1980年	1995年	2002年
産業集積	・半導体 ・コンピュータ ・通信 ・光電 ・バイオテクノロジー	・半導体 ・精密機械 ・光電 ・ナノテクノロジー ・バイオテクノロジー	・半導体 ・AI ・光電 ・グリーンエネルギー ・バイオテクノロジー
主な進出企業	・TSMC ・MediaTek ・Acer	・TSMC ・AUOptronics ・HIWIN Technologies	・TSMC ・UMC ・Motech Industries
大学・研究機関	・国立清華大学 ・国立陽明交通大学 ・工業技術研究院 (ITRI)	・国立中興大学 ・国立台中科技大学	・国立成功大学 ・国立中山大学 ・工業技術研究院 (ITRI)

台湾のサイエンスパーク

最初の「新竹科学園區」の開発にあたって、台湾政府はインフラ整備だけでなく積極的な支援を行いました。法整備により科学園區の管理権限を各管理局に集約。進出企業への税制優遇や補助金などにより企業の進出を促進することで、園区内に半導体産業の各工程（設計、製造、後工程）が集積することとなり、企業の垣根を超えた効率的な生産体制、技術革新の促進、さらには関連産業の連携による競争力の向上に寄与することとなりました。

税制優遇

- 輸入関税および物品税および営業税の免除
自社使用の機械、設備、原材料、燃料、半製品、サンプル等
- 手続きの簡便化
免税、保証、会計及び保証金の手続き不要
- 輸出時の営業税率ゼロ、物品税の免除
製品や労働サービス輸出時

単一窓口によるサポート

- 投資サポート
投資誘致、イメージ構築、入居申請審査、海外及び華僑投資
- 工商サポート
商業登記、税関駐区サポート、通関の自動化、増資・減資
- 建設サポート
基礎インフラ、水道・電気・交通、施設維持管理
- 建設管理サポート
サイエンスパーク全体計画、土地・工場・寮の賃貸管理

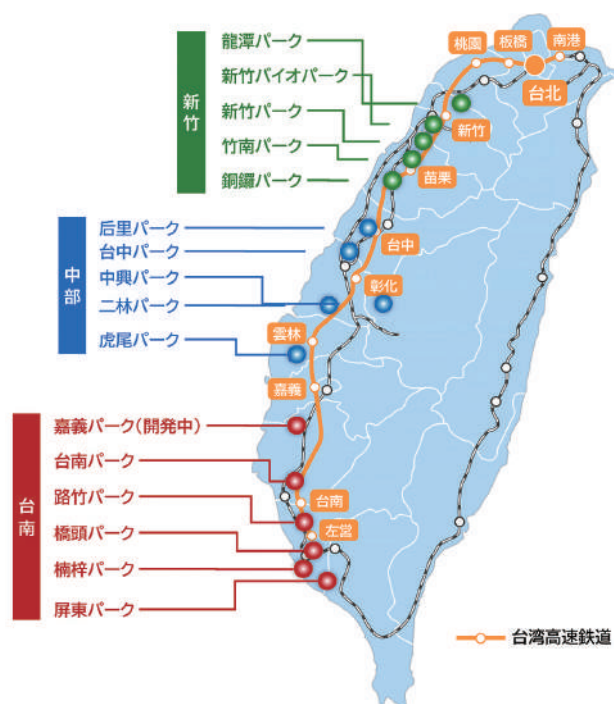
主な優遇・サポート

また、園区内にある清華大学や交通大学といった大学や、工業技術研究院 (ITRI) などの研究機関との産学連携により、高度技術人材の育成が進み、各企業の人材の確保と育成にも寄与するとともに、国内外からの人材還流も促進し更なる優秀な人材の集積にもつながっています。

新竹科学園區の成功を礎に、1995年には台中エリアに中部科学園區、2002年には台南エリアに南部科学園區が開かれました。中部科学園區では、半導体、精密機械、オプトエレクトロニクスなどを中心としたクラスターが形成されています。

南部科学園區では、TSMC、UMCといった半導体チップ製造企業の進出をきっかけに、製造のために必要な「素材・製造装置・化学」系のサプライヤー、液晶などの最終製品メーカー、さらにはAIスタートアップなどが徐々に集積し、半導体を中心に設計～製造～製品化～新産業まで幅広い産業クラスターが形成されています。その結果、科学園區開設前の2000年には22拠点だった企業・工場が2021年には80拠点を超え、就労人口は20倍近く増加しています。

園区内の土地および工場は国有となっています。販売は行わず賃貸のみで賃貸期間は20年間に設定されています。



台湾のサイエンスパーク立地

一方で、使用規範に適合しない場合、本来の用途に使用されていない土地や使用されない土地について、2年間で改善されない場合は、工場の競売など、進出企業に対してのペナルティが課せられる場合もあります。

サイエンスパーク内には工場や研究施設だけでなく、スタートアップや大企業のブランチが使用するオフィスや賃貸工場なども整備されています。

大きな特徴は、産学官の交流による共創が活発なことです。交流を目的とした様々な横断組織が作られ、対面で交流するためのイベントなども頻繁に開催されています。このような共創を生み出す環境がサイエンスパークに入る大きなメリットの一つになっています。

また、周辺の都市開発も活発です。高規格の大型物流施設、高層マンション、ショッピングセンター、ラグジュアリーなホテルや新たなビジネスエリアなどが生まれています。

三井不動産の サイエンスパークへの取り組み

三井不動産は、産業デベロッパーとして、産業競争力強化に資する街づくりを推進し、そこに集う人々や企業が共創することでイノベーションを起こし付加価値を高めるお手伝いをするために、サイエンスパークへの取り組みを始めました。

2024年4月に、東北大学サイエンスパーク構想の本格始動にあたり、その実現に向けてパートナーシップを締結しました。「共創の場」の構築と「イノベーションを生み出すコミュニティ」の創出により、最先端技術を社会実装させ、イノベーションを生み出し、社会課題解決と新産業創造を目指してまいります。

2024年7月には、日本国内における半導体クラスターを核とした街づくりに向けて、新竹科学園區に隣接し産学連携を支える国立陽明交通大学(NYCU)、工業技術研究院(ITRI)とそれぞれ連携協定を締結しました。最先端半導体分野の研究開発に強みを持ち多くの人材を輩出しているNYCUと、台湾最大の産業技術研究・開発機関であり、UMCやTSMCを輩出しているITRIが持つ知見を活かし、日本におけるサイエンスパークのあり方を探ってまいります。

2024年12月には、筑波大学と産学連携の推進に関する協定を締結しました。次世代のサイエンスパークのあるべき姿および先端科学技術の探求を通じて、持続可能な社会の実現に向けた新産業創造を目指してまいります。

日本と台湾ではサイエンスパークを取り巻く環境が大きく異なります。例えば、新竹サイエンスパークは1000haを超える広大な土

地を政府が用意し多くの企業が集積していますが、日本ではそのような広大な土地を探すことは困難です。また、台湾では法律を制定してサイエンスパーク管理局に様々な権限を集中しています。産学連携の距離感、税制、人材供給、電力、水、排水処理などにも様々な違いがみられます。

一方で、日本は半導体製造装置や原材料の世界シェアが高く、また半導体を使う側の産業が多いという特徴があります。このような違いを踏まえて日本型のサイエンスパークを作りたいと考えています。

九州は、シリコンアイランドと呼ばれ多くの半導体企業が立地してきた歴史的経緯から、半導体に関連するサプライチェーンが数多く集積しており、人材やその育成機関も豊富です。また、水や電力といったインフラが充実し、アジアとの近さなどの地理的条件が整っています。さらに、自動車産業をはじめとした半導体を利用する側の企業が数多く集積しているなど日本有数の可能性を持つ魅力的な地域だと考えています。

今後、世界的半導体企業の集積が進む熊本や、新生シリコンアイランドを掲げる九州において、更なるイノベーションを加速させる場として、半導体関連企業の皆さまのご意見を踏まえながら、生産、研究開発、物流といった様々な企業活動の場はもちろん、産官学連携を通じた人材育成・供給や研究開発の促進のための共創の場を創出したいと考えています。

これまでの街づくりで培ってきたノウハウに加え、日台の産業界・アカデミアとのネットワークを活用しながら日本型サイエンスパークの実現を目指してまいります。



サイエンスパークイメージ

※このイメージ図は、特定の場所を想定したものではありません。

九州半導体・デジタルイノベーション協議会(SIIQ)紹介

〈PROFILE〉

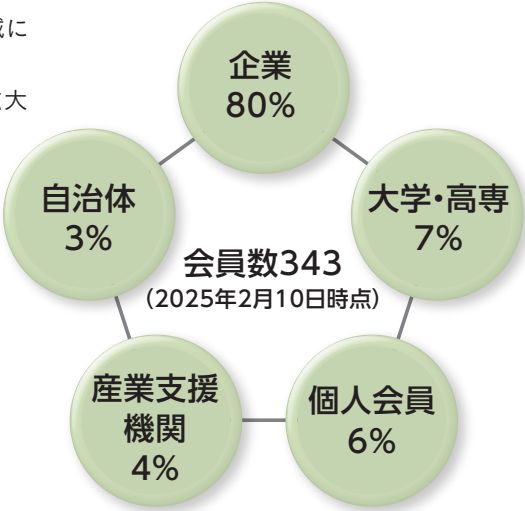
経済産業省が進める産業クラスター計画を推進する機関として、九州地域における半導体・デジタル関連産業の振興を目的とし、2002年5月に設立。

半導体産業を取り巻く環境の変化や期待の高まりに対して事業の維持・拡大と社会的信用力の向上を目的に2023年6月に一般社団法人として独立。

- 設 立：2002年5月
- 会員数：343
- 年会費：6万円～
- 住 所：福岡市博多区

※SIIQは、シリコン(SI)、アイランド(I)、九州(Q)の頭文字をとった愛称





〈役 員〉 (敬省略)			
会 長	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社	代表取締役社長	山 口 宣 洋
筆頭副会長	三菱電機株式会社	パワーデバイス製作所長	岩 上 徹
副 会 長	株式会社ピーエムティー	代表取締役・CEO	京 谷 忠 幸
	株式会社アドバンテスト	北九州R&Dセンタ長	佐 々 木 功
副 会 長	株式会社ジャパンセミコンダクター	取締役社長	川 越 洋 規
	株式会社安川電機	代表取締役会長	小 笠 原 浩
理 事	九州大学	システム情報科学研究院 教授	金 谷 晴 一
	旭化成エレクトロニクス株式会社	生産センター 第二製造部長	杵 淵 雄 一
理 事	株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン	代表取締役社長	川 島 知 浩
	エスティケイテクノロジー株式会社	代表取締役社長	野 尻 裕 明
理 事	株式会社オジックテクノロジーズ	取締役会長	金 森 秀 一
	鹿児島大学	准教授	中 武 貞 文
理 事	公益財団法人 北九州産業学術推進機構	専務理事	北 里 勝 利
	九州工業大学	マイクロ化総合技術センター長 教授	中 村 和 之
理 事	九州大学	経済学研究院 教授	高 田 仁
	九州電力株式会社	情報通信本部 電子通信部長	松 枝 伸 幸
理 事	熊本大学	半導体・デジタル研究教育機構 卓越教授	中 島 寛
	櫻井精技株式会社	代表取締役社長	櫻 井 一 郎
理 事	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	九州センター 所長	植 村 聖
	株式会社スズキ	代表取締役社長	鈴 木 清 己
理 事	日清紡マイクロデバイスAT株式会社	代表取締役社長	末 吉 裕 明
	株式会社藤田ワークス	代表取締役	藤 田 幸 二
理 事	ラピスセミコンダクタ株式会社 宮崎工場	取締役工場長	木 村 偉 作 夫
	株式会社ロジック・リサーチ	代表取締役社長	土 屋 忠 明
監 事	一般社団法人 九州半導体・デジタルイノベーション協議会	理事	藤 井 博 信
	古賀マネージメント総研株式会社	代表取締役(公認会計士)	古 賀 光 雄

〈主な事業〉

オープンイノベーション・ コトづくり深化事業

～産々連携で新ビジネス創出～

〈SIIQ会員交流会〉

SIIQ会員相互のネットワーク形成を目的として実施。



〈海外展開支援〉

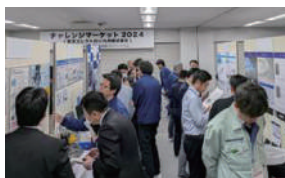
九州企業とマッチングの可能性が高い海外市場の調査、海外展開支援を実施。



SEMICON台湾

〈チャレンジマーケット2024〉

九州に立地する大手半導体関連企業と、地域の中堅・中小企業を結ぶマッチングイベントを実施。



東京エレクトロン九州(株)

〈九州物流網構築〉

ビジネスを取り巻く様々な環境変化に対する取り組みのひとつとして、九州一体となった効率的な物流網構築の検討を進める。



〈サイバーセキュリティセミナー〉

ビジネス上の脅威となるサイバー攻撃の理解と課題解決への気づきを目的にセミナーを開催。



〈研究奨励事業〉

研究の奨励ならびに新しい価値づくりコンセプトの検証促進を促せるよう、研究等奨励寄附金による助成および表彰等を実施。



人材育成 関連事業

～産学連携で人材育成～

〈学への出前講座〉

半導体を身近に感じてもらいその重要性和魅力をSIIQが講師となり、出前講座で発信。



〈ミートアップ事業〉

進学進路や就職先を検討している学生、その指導を行う教員、及び半導体関連企業が一堂に会し、半導体産業の魅力発信や産学の相互交流を実施。



〈教員向け研修会〉

半導体企業の事業内容や技術説明、工場見学及び人事担当者、卒業生との座談会を実施。



〈ガイドブック作成〉

半導体教育における効果的な産学連携促進に繋げるために教育プログラム策定までの産学官で確認すべきポイントなど紹介するパンフレットを作成。



SIIQ事務局の事務所移転について

事務局機能の強化および環境の改善を目指し、2024年11月から新事務所に移転しました。

- ・事務局人員増への対応
- ・来客対応スペース、及びミーティングスペースの確保



1 SIIQ会員交流会

会員相互のネットワーク形成・連携を深めるため、「SIIQ会員交流会」を従来より継続して実施しています。

- 開催日 2024年10月18日
開催場所 ラピスセミコンダクタ(株) 宮崎第二工場
参加人数 84名

〈参加者の主な感想〉

- ・半導体工場の見学の機会は貴重で、非常に有意義だった。
- ・普段見ることができない半導体製造ラインについての情報を得ることができ、感謝致します。



講演会



工場見学会



ゴルフ交流会

- 開催日 2024年11月1日
開催場所 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 長崎テクノロジーセンター
参加人数 86名

〈参加者の主な感想〉

- ・最先端の半導体工場を見学させていただき、大変興味深く勉強になった。
- ・半導体工場の構造まで見学できたのは、非常に貴重な機会だった。



講演会



工場見学会

2 九州物流網構築

物流の2024年問題を発端とした高齢化問題は年々深刻度を増し、加えて、ビジネス環境は急激に変化、複雑化しています。これらの課題に対応するためには、ALL九州としての連携した取り組みが必要だと考えています。その対策の一つとして物流網構築をテーマに検討を開始しました。



物流網イメージ

コンセプト

- ・幹線便
- ・エリア循環便
- ・エリア拠点
- ・部材、車両位置管理

メリット

- ・物流インフラの共用化
- ・1社で解決できない課題への対応
- ・新規立地企業サポート
- ・共通オペレーションシステムの利用
- ・環境負荷削減

3 海外販路開拓支援

海外販路開拓を目的に海外企業との商談会、海外半導体業界団体・研究機関との交流会を実施しました。

【九州・台湾半導体技術国際シンポジウム】

台湾の半導体関連機関、関連企業と、今後の半導体製造装置における技術開発について意見交換を実施しました。

開催日 2024年9月3日

開催場所 SEMICON台湾 台北南港展覽館



【台湾ITRIとの技術懇談会】

SIIQがMOUを締結している台湾ITRIと、今後の先端半導体開発に必要な要素技術や製造技術に関して、台湾と九州における連携も含めて、様々な視点から、その可能性についての意見交換を実施しました。

開催日 2024年9月4日

開催場所 工業技術研究院 台湾 新竹



【ベトナム スタディ・ミッション】

九州とベトナムにおける半導体産業の状況、目指すべき半導体人材像や教育機関の実態、理系人材の活躍状況などについて相互理解を深め、今後の連携可能性を目的にスタディミッションを実施しました。

開催日 2025年2月18日～20日

開催場所 ベトナム(ハノイ、ハイフォン)
関係機関



【ベルギー フランダース地方半導体クラスター DSP Valley及び IMECとの交流会】

スマート電子システムと埋め込み技術ソリューションの技術ネットワーク組織であるDSP Valleyや、世界最大級の半導体研究開発機関であるIMECとの交流をオンライン会議にて実施しました。



4 広報出展・情報発信事業

情報発信としては会員向けメールマガジンの発信やホームページによる情報提供、SIIQ会報による活動状況の報告・共有を実施しています。

【広報出展】

九州の半導体・デジタル産業が持つ商品や技術を展示会に出展することにより販路拡大支援を実施しました。



【情報発信事業】

◆会報発行

SIIQ事業のトピックス報告と時宜に応じた特集、新会員紹介等を掲載する会報を発行。

◆ホームページによる情報発信

SIIQの概要、事業内容の紹介とともに、会員団体や事務局からのお知らせ機能を活用し、情報発信を実施。

SIIQ会員相互のコミュニケーションの利便性向上のために継続改善中。

SIIQの“顔”であるホームページをより利用しやすく、また魅力的なものにするため、2024年5月に旧ホームページから全面的な改修を実施。



Sector News

コトづくり深化事業

SIIQでは九州の半導体関連企業に対して、ニューノーマルに対応するための企業変革に向けた、ビジネスモデル構築のサポートを行うため、既存の企業体質を変えるためのマインドチェンジ促進や新たな収益モデル構築に向けてオンライン形式のワークショップなどを展開しました。

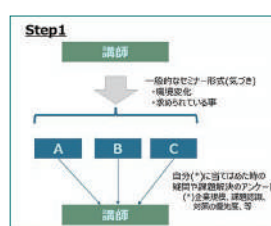
1 サイバーセキュリティセミナー

ビジネス継続において脅威となる、サイバー攻撃に対して「より深い理解」と「課題解決への気づき」を得て頂くことを目的にセミナーを開催しました。

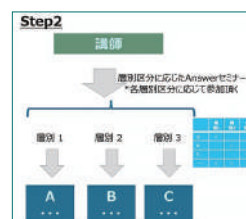
2024年問題や急速に変化する物流環境とそれに伴うサイバーリスクへの対応について、インシデント事例を踏まえながら、ポイントを交えて解説しました。

開催日 2025年2月10日

開催形態 オンライン開催



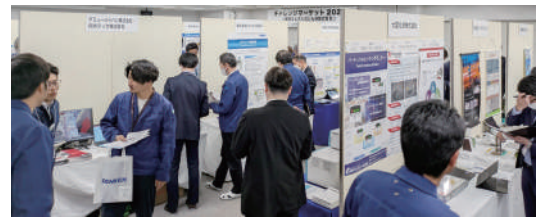
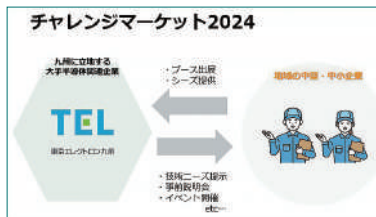
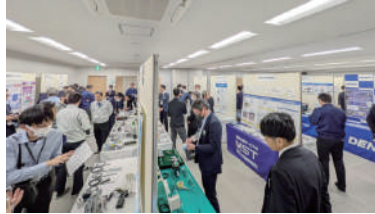
層別
・課題内容/難易度
・緊急度/優先度
・企業数



2 チャレンジマーケット2024

九州に立地する大手半導体関連企業と、地域の中堅・中小企業を結ぶマッチングイベントを開催しました。東京エレクトロン九州様から69種の技術ニーズを発信し、対応できるシーズとのマッチングを進めました。

開催日	2025年1月29日
開催場所	東京エレクトロン九州(株)
出展団体	31社
来場者	293名



3 研究奨励事業

大学や公設試験研究機関等の優れた研究シーズならびにSIIQ会員企業との連携による新しい価値づくり(コトづくり)に対して、研究の奨励ならびに新しい価値づくりコンセプトの検証促進を促せるよう、研究等奨励寄附金による助成および表彰等を実施しています。

【SIIQ技術大賞】

大学や公設試験研究機関等の優れた研究に対して、革新的な関連技術等を応用し、他分野への展開を図る技術を広く募集、SIIQ技術大賞として優れた研究開発テーマに対し助成・表彰。

【SIIQビジネスプランコンテスト】

会員企業間の連携による研究開発や自社の強みを活かした新しい価値づくり(コトづくり)を実現。

ビジネスプランを広く募集し、優れたプランに対して、助成や表彰。



4 産学連携ガイドブック

半導体人材育成における産学官連携に関して、関係機関(産・学・官)が主体となっている取り組み事例や、教育プログラム策定までの産学官で確認すべきポイントなど紹介。

半導体教育における効果的な産学官連携促進に繋げる。



5 半導体ロールモデルブック

若手から中堅社員、研究者、海外人材など半導体業界で活躍するロールモデルを調査し、半導体業界でのキャリアイメージをロールモデルブックとしてまとめ、若年層や教員に向けて広く発信する。



1 産学連携による半導体人材育成【SIIQによる出前授業】

九州における半導体企業の集積や将来性、デジタル社会における半導体の実用例などを解説し、半導体産業の魅力を発信する目的でSIIQ事務局による出前授業を実施しました。

【大分大学】

九州半導体産業の将来性や可能性を解説し、デジタル社会における半導体の重要性を講義しました。

開催日 2024年11月19日

参加人数 理工学部 200名



【佐賀大学】

デジタル社会における半導体の実用例とサプライチェーンについて講義しました。

開催日 2024年9月5日

参加人数 理工学部 195名 一般 22名



【福岡大学】

半導体とは何か？具体的に使用されている素子、製品について解説し、半導体の裾野の広さや幅広い人材が必要とされることを講義しました。

開催日 2024年11月22日

参加人数 理学部 18名



【九州産業大学】

九州における半導体産業の現状と、過去の歴史や今後の可能性を講義しました。

開催日 2024年11月12日

参加人数 電気工学科 60名



【佐世保高専】

半導体を身近に知ってもらう「半導体工学概論」及び半導体の製造技術の基礎を学んでもらう「半導体デバイス工学」を実施しました。

また講義の録画データを活用し、オンデマンドで全国高専に展開しました。

開催日 半導体工学概論：2024年5月～7月(6回)
半導体デバイス工学：2024年11月～12月(5回)

参加人数 全学科 80名



【鹿児島高専】

九州における半導体企業の集積と今後の可能性などの魅力を解説しました。

開催日 2025年1月8日

参加人数 電子制御工学科 41名



【熊本工業高校】

半導体の基本機能、動作原理などを解説し、社会における実用例などを講義しました。

開催日 2024年10月22日、2025年1月28日

参加人数 200名



【長崎工業高校】

九州半導体の現状と、半導体産業の過去の歴史と可能性について講義しました。

開催日 2024年5月17日

参加人数 工業化学科 30名



2 産学連携による半導体人材育成【ミートアップ事業】

進学進路や就職先を検討している学生、その指導を行う教員、及び半導体関連企業が一堂に会し、半導体産業の魅力発信や産学の相互交流を実施しました。

【南部九州会場】

開催日 2024年10月30日

開催場所 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 鹿児島TEC

参加人数 50名



【北部九州会場】

開催日 2025年2月14日

開催場所 福岡大学

参加人数 58名



3 産学連携による半導体人材育成【教員向け研修会】

SIIQ会員である半導体関連企業を、教員の皆様方に訪問していただき、半導体についての理解度を深め、生徒・学生の進路選択時に半導体産業を先生方から提案頂ける様、半導体産業の魅力発信を行いました。また、企業との座談会にて学における教育と半導体業務の関連などについても理解を深めていただきました。

開催日 2024年8月6日～8月28日(3回実施)

開催場所 三菱電機(株) パワーデバイス製作所
(株)SUMCO
日清紡マイクロデバイスAT(株)

参加人数 39名



2024年新会員のご紹介

株式会社イーピーイー



概要	・各種緩衝材の設計・試験・製造販売
P R	TPSC(トータルパッケージングソリューションカンパニー)として、世界中のお客様に包装設計技術を駆使し、お客様の商品を保護する最適な梱包資材を提供いたします。 (世界10か国、約70拠点)

大宮化成株式会社



概要	・電子部品・半導体分野のお客様に対し、化学工業製品・電子材料・部品、各種産業用設備・機器の販売 ・高純度化学薬品、各種調合薬品の製造、販売 ・取扱品目の輸出入
P R	当社は、商社機能にメーカー機能を加えたシナジー効果により、変化する時代のニーズに応え、産業の発展に貢献すべく、新しい技術とノウハウを提供します。九州では、長崎/熊本/鹿児島に営業/物流拠点をもち各法令に準拠した保管/デリバリーを行います。

ウィンボンド・エレクトロニクス株式会社 winbond

概要	・半導体メモリ(DRAM、Flash)の販売促進、技術サポート、製品設計開発
P R	トータルメモリソリューションプロバイダのウィンボンドは、台湾台中及び高雄に自社の12インチウェハ工場を保有し、長期安定供給をお約束します。また日本国内に支社があるため、細やかな顧客サポートが可能です。

株式会社クオルテック



概要	・電子部品の不良解析・信頼性試験の受託および新技術の開発 ・品質管理を中心とした工場経営、実装技術に関するコンサルタント ・レーザ加工・表面処理(めっき)技術を中心とした微細加工 ・試験装置の設計・開発・製造・販売
P R	当社は、分析や故障解析、信頼性評価、微細加工のエキスパートが揃っております。お客様が直面している不良や故障の真因を追究するのはもちろん、製品の安全・環境・快適性を向上させる改善提案、対策提案まで行っております。

エア・ウォーター西日本株式会社 九州支社



概要	・半導体・液晶などのエレクトロニクス分野において使用される多種多様な産業ガス・特殊ガス・特殊ケミカル品・電子材料・関連部材・供給システム・精製処理装置を幅広く取り扱っている
P R	加速度的に成長するエレクトロニクス分野に向けて、産業ガスとケミカルの事業領域を融合して生まれる技術やソリューションを軸に、多様化・高度化する最先端のニーズにお応えします。

株式会社熊本精研工業



概要	・精密金型部品製造 ・機械装置部品製造 ・機上測定機の開発・販売
P R	当社の役割は「快適な未来を創造する」こと。スマートフォンやパソコンなど、皆様の日常に欠かせない製品の部品を製造し、快適な社会の創造に貢献しています。

SKソリューション株式会社 SK Solution co.,ltd.



概要	・オムロンFA用制御機器、システム機器、ソフトウェアの販売 ・各種制御機器、周辺機器の販売 ・各種電気制御及び計装システム設計・製作・試運転調整 ・半導体・液晶装置及びFAシステム装置設計・製作・試運転調整
P R	オムロン製品をはじめとする約40社のメーカー、15万点以上のコンポーネンツを取扱い、さらに技術的知見を必要とするロボティクスやエンジニアリング事業までをワンストップで担う「技術商社」です。九州に5拠点を展開し、地場密着型で九州の産業発展にお役立ちし続けます。

株式会社クリエイティブテクノロジー CREATIVE TECHNOLOGY



概要	・静電チャックおよび周辺技術の開発・製造・販売 ・静電チャック用電源およびセンサーの開発・製造・販売 ・吸着物搬送機器の開発・製造・販売
P R	長年、半導体製造装置向けの静電チャックの開発を通して培った経験から、現在では静電吸着技術を応用したパーティクル対策製品やマテリアルハンドリング製品などモノとモノをくっつける技術であらゆる省力化・IoTに貢献しております。

株式会社荏原製作所 熊本事業所



概要	・半導体製造装置(CMP:ウエハー平坦化装置)の設計・製造・据付 ・ドライ真空ポンプのサービス&サポート事業
P R	半導体製造の重要な工程であるCMP装置やドライ真空ポンプ等の分野において、豊富な経験と技術力で顧客のニーズに合わせた最適なソリューションを提供しています。

栗田工業株式会社 熊本営業所



概要	・国内外で水処理に関わる装置や薬品の販売
P R	当社は、「水」を究め、自然と人間が調和した豊かな環境を創造する」を企業理念に、国内外で水処理に関わる装置や薬品の販売、お客様へのソリューションを提供しています。技術にこだわり、お客様に寄り添い、2024年で創業75周年を迎えております。熊本営業所は、お客様と共に成長させて頂き、30年以上熊本の地で営業を継続させていただいております。

コクネ製作株式会社 九州営業所

概 要	・ 半導体製造装置関連を中心とした産業機器部品 (素形材、機切削部品、ハーネス) の製作及び組立
P R	素形材である鑄造の技術に加え、機械加工やあらゆる商材の調達、組立までの一貫生産体制を武器にQCDにおいてお客様のご期待にお応えいたします。

シンデン・ハイテックス株式会社

概 要	・ 液晶や半導体などの電子部品販売を主軸とする専門商社 (主な製品: メモリー、液晶、IoT、ファンダリー、GPU/AIサーバー、バッテリー等)
P R	創業以来、エレクトロニクスの分野における世界の優れた製品を幅広く取り扱う独立商社として日本の産業界に貢献。お客様のニーズを的確に捉え、トータルソリューションとして提案し、感動を与える企業としてお応えして参ります。

三洲電線株式会社

概 要	・ 電線・ケーブル内部の導体製造販売 ・ 導体からのケーブル設計・開発
P R	独自の技術を活かした導体は、自動車のスライドドアセンサー、産業用ロボットの特殊配線、手術支援ロボットの重要部位など、高伝送性や屈曲特性を要求される分野で活躍しています。

伸和コントロールズ株式会社

概 要	・ 半導体製造装置用の精密温調装置および医療機器等に用いられるバルブの開発、設計、製造、販売およびサービス
P R	半導体製造を中心に、高性能かつ環境に配慮した製品とサービスを提供しています。これからも技術革新を追求することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株式会社GSIクレオス

概 要	・ 繊維と工業製品の事業創造型商社 ・ 繊維と工業製品の両分野で様々な事業を展開 ・ 半導体に特化した半導体エレクトロニクス部
P R	九州地区半導体へのより一層貢献すべく、2024年5月に熊本営業所を設立いたしました。国内と海外、既存と新規を結びつける地域トータルコーディネーターを目指します。

大東商事株式会社

概 要	・ 産業廃棄物最終処分業・中間処理業 ・ 産業廃棄物収集・運搬業 ・ 一般廃棄物収集・運搬業 他
P R	我々は、経営理念である、「自然と人間の調和を保ち、次世代に豊かな未来を残す」を実現するため、地球の資源が限られていることを認識し、これらの資源を最大限に活用できるよう、お客様のサーキュラーエコノミーへの取り組みをお手伝いいたします。

ジオマテック株式会社

概 要	・ ガラス基板やシリコンウエハ基板に対する成膜、フォトリソグラフィ、エッチング等の半導体プロセス受託加工サービスを提供 ・ 受託加工サービスとして日本国内最大規模の工場・設備を保有
P R	当社は、515mm×510mmサイズなどのガラス基板や1～12インチのシリコンウエハ基板まで、200種類以上の薄膜材料に対応しており、少量・スポットの試作から品質保証を含む量産まで、目的・用途に応じ薄膜特性をコントロールし、安定した品質とカスタマイズ性を実現いたします。

株式会社テクノアソシエ 福岡営業所

概 要	・ 鋳造類、加工品、金属素材、電材品、化成品、産業機器、その他販売及び、これに付帯または関連する事業
P R	当社は住友電工グループの「価値(Value)創造企業」として、金属加工品・化成品をはじめ産業を支える様々な部材・機構部品を商材として扱っています。独自の提案力・創造性を追求し「お客様と仕入先様をつなぐ唯一無二のパートナー」として産業の変革を支え、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社

概 要	・ 6～40nmの幅広いプロセス技術により、車載、民生、High Performance Computing等の用途向けに先端スペシャリティ半導体の受託製造サービスを提供
P R	当社は、最高水準のスペシャリティ半導体技術でお客様をサポートすることで、日本の産業分野でのイノベーションを促進し、日本経済の活性化に貢献します。

ニシハラ理工株式会社 佐賀工場

概 要	・ 半導体部品、電子部品、車載部品へのめっき加工及びめっき装置の設計・製作
P R	お客様に価値のある品質とサービスを提供のより、自動車の軽量化、部品の小型低背化、信頼性の向上を実現しています。国内、海外併せて300社以上のお客様にお使いいただいています。表面処理のお困りごととは是非NRKに!

2024年新会員のご紹介

日本スウェーヂロックFST株式会社



概要	- 業界最高レベルのバルブや継手をはじめ、豊富な品揃えの流体システム製品の販売 - 流体制御に関する配管ユニット製作サービスの提案 - 各種技術セミナーなどのサービスの提供
P R	これまで様々な業界で培ってきた流体システムに関する専門知識と経験を通して九州の半導体産業発展に貢献し、人材教育、環境配慮、技術革新へと共に取り組んでまいります。

株式会社リボラス



概要	半導体製造装置チャンバー内消耗パーツおよび附帯設備の設計・製造・再生・分析・メンテナンス・修理・オーバーホール等サービスの提供・販売
P R	当社は福岡/太分/熊本/三重/岩手に事業所を展開しています。半導体デバイスメーカー様を中心にお客様に付加価値を提供し、お客様を通し社会へ貢献・奉仕し続ける会社を目指します。

ピーアイ・ジャパン株式会社



概要	ピエゾやモーターを用いた超精密位置決め製品の販売・提案・修理・サービスを提供
P R	当社はPhysik Instrumente GmbH(ドイツ)の日本法人として、30年以上にわたり、リニアステージ、回転・チップ/チルト軸ステージをはじめとする、様々なポジショニングステージの他、リニアアクチュエータ、ピエゾトランデュース、ピエゾアクチュエータなどの製品開発・製造を行っています。カスタマイズ要望への対応や真空環境など特殊対応も是非ご相談ください。

菱洋エレクトロ株式会社



概要	- 半導体/デバイス、ICT製品、組み込み製品の販売 - 上記に関わる設計・開発及び技術サポート、各種サービス
P R	国内正規代理店として、NVIDIA製品を取り扱っており、「半導体」と「ICT(Information and Communication Technology)」の2つの事業基盤を柱に、それぞれの強みを活かした「サービス・ソリューション」にも注力しています。GPU製品を購入したい、生成AIを活用したい等ニーズがございましたら是非当社にご相談ください。

株式会社平山GL



概要	- タイヤ、スチールコード生産の付帯作業の受託 - 労働者派遣事業 - ブリヂストンの工場の建物・構築物の営繕 - 緑化管理(庭園樹木剪定、緑地メンテナンス)
P R	モノづくりを通じて、世界のタイヤ製造に貢献する会社です。当社は、安全を基盤に最高の品質で現場を支えることが、お客様からの信頼を得られると確信しており、質の高い仕事力とサービスを提供し、お客様企業と共に発展することが地域社会に貢献できると考えております。

ローム・アポロ株式会社



概要	トランジスタ、LSI(大規模集積回路)、炭化ケイ素(SiC)パワー半導体の生産、ウェハー加工から素子、デバイスまでの一貫製造
P R	半導体メーカーのローム(京都市)の一大製造拠点として、「品質第一」を礎に、パワー・アナログのすり合わせ技術を進化させ、顧客商品の省エネ、小型化に寄与することで社会課題を解決することを目指しています。

メルコアドバンスデバイス株式会社



概要	- 通信用光デバイス、通信用高周波デバイスの技術開発、製造 - 産業用光デバイス、赤外線センサーの技術開発、製造
P R	世界中の通信・センシング技術と社会の発展を支える三菱電機グループの半導体デバイスメーカーです。従業員と会社が共に成長し、高い技術力と高品質なモノづくりを通じて社会へ貢献します。

株式会社九州日新



概要	- 物流全般 - 海上及び航空による国際/国内一貫輸送 - 倉庫・輸出入通関・事務所移転・文書保管
P R	世界24の国と地域に150拠点以上のグローバルネットワークを持つ日新グループの一員として、そして九州に根差した地場企業として、最適な物流提案やサービスによりお客様のサプライチェーンを支えてまいります。

株式会社山忠商会



概要	工場設備機械器具・産業機械の販売・レンタル・修理・中古機械の買取等
P R	あらゆる工場設備機械の販売、レンタル&リースを展開し、顧客の信頼を確かなものとしております。今後も、積極的に社会に貢献していく所存であります。

佐川グローバルロジスティクス株式会社



概要	- ロジスティクス事業 - サービス:3PL・コンサルティング
P R	佐川急便を中核とするSGホールディングスグループの中で、ロジスティクス事業を展開。コンサルティングやオーダーメイド物流、通関物流、輸送チャーターを得意とする、3PL企業です。半導体関連の物流業務にも対応しています。

三井倉庫 サプライチェーンソリューション株式会社



概要	・ 国内外の調達物流・製造物流・販売物流・リペアパーツを含むリバー ス物流及び関連する物流ソリューション事業
P R	九州各地域を結ぶ九州半導体物流プラットフォームを運営しておりま す(空調倉庫・365日輸送)。荷主様の物流コスト削減、リードタイム短 縮、物流品質の向上をはじめ半導体業界全体の活性化に物流から貢 献してまいります。

パーソルキャリア株式会社 九州オフィス



概要	・ 人材紹介サービス ・ 転職・就職支援 ・ 副業・兼業・フリーランス支援サービスの提供 ・ 求人メディアの運営 ・ 採用・経営支援
P R	当社は「doda」などのブランドを展開し、多様な求職者のニーズに応 えるサービスを提供しています。働くすべての人々が「自らの可能性 や人生の選択についてより深く知り、選択し、行動すること」を支援い たします。

株式会社プラスPM 株式会社 プラスPM

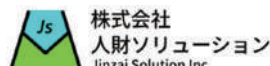
概要	・ 工場建設のスケジュール・コスト・品質最適化と事業推進支援 ・ 基本構想、基本計画策定支援 ・ コスト妥当性確認 ・ 発注支援 ・ 設計・施工段階の品質、コスト、スケジュール管理
P R	当社はお客様の建設投資の成功をお手伝いしています。多様な工場 建設事業の支援実績から蓄積したノウハウを提供し、円滑な事業推進 と品質・工期・コストの最適化を実現します。

株式会社三菱UFJ銀行



概要	・ 金融業及びその他付帯業務
P R	当行は2024年に4月に半導体バリューチェーン推進室を立ち上げ、 専門的知見の結集により半導体産業全体へ貢献する体制を強化して います。同5月には九州半導体人材育成等コンソーシアムへ参画、同 11月にはふくおかフィナンシャルグループ様と連携協定を締結しまし た。これからも半導体産業に向き合い、九州における産業課題解決に 資する枠組みの創出に取り組んでまいります。

株式会社人財ソリューション



概要	・ 半導体業界にフォーカスした人材派遣や職業紹介などの就業支援 サービスや、若手エンジニアを中心としたソフトウェア関連サービ スの事業を展開
P R	社名に关している“人財”を大切に、半導体業界出身者でそれぞれの 専門分野に精通した人材が多数在籍する会社です。設計から生産、品 証、FAE他、高いスキルと豊富な経験を持つ即戦力の人材マッチング サポートをしています。

独立行政法人国立高等専門学校機構 北九州工業高等専門学校



概要	・ 1965年に設立 ・ “明るい未来を創造する開拓型エンジニアの育成”を教育理念とし、 現在、生産デザイン工学科(本科)及び生産デザイン工学専攻(専攻 科)を設置している
P R	産業構造が大きく変化する中、工学基礎力を高め複合融合分野に対 応するため、ロボット、AI、IoTなどのデジタルものづくりがで活用で きる人財を育成しています。

TG Japan株式会社



概要	・ Contingent Workforce Management、EOR、人材紹介・派遣、 BPO、PPOなど多様な人事ソリューションを提供
P R	当社はシンガポールを本拠として世界50拠点以上で、あらゆる分野 における人材需要に対して画期的なソリューションを提供しています。 国籍・言語・各国法令・慣習の違いに適応する未来の働き方を形作り、 お客さま事業のサステナビリティとコンプライアンスの実現を支援し てまいります。

ETロボコン実行委員会



概要	・ ソフトウェア設計技術やチーム開発を通じた、技術者の人材育成、 新人教育の場を提供
P R	企業・教育機関の新人教育の場として、技術力習得はもちろん、実践 的なプロセスの経験を通じチーム開発やコミュニケーションスキルの 取得など、知識、手法、意識変革も得る機会を提供しています。また、 参加企業と教育機関の連携・交流機会も提供し、採用活動・就職活動 の支援もしています。

株式会社日本ケイテム



概要	・ 製造受託、製造派遣、人材紹介、紹介予定派遣、アウトプレースメント (主要サービス分野:半導体、電子部品、メディカル、自動車、家電、食 品、住宅建材、リペアサービス、リサイクル等)
P R	半導体事業30年以上。製造請負優良適正事業者・優良派遣事業者と して初回より認定。未経験者も早期に戦力化可能な人材育成システム を構築し、トレーニングセンターでは基礎知識研修、器具を使った模 擬作業研修、安全衛生研修を経て、適性を見極めて配属することで高 い生産性を維持しています。

佐賀県立 九州シンクロトロン光研究センター



概要	・ 放射光の産業利用を主目的に佐賀県が設置した研究施設 ・ 多くの企業、大学、公設試験研究機関の方にご利用いただいてお り、その利用支援を行っている
P R	半導体分野や農林水産分野、エネルギー分野等、幅広い分野で活用 されています。特に半導体分野においては、半導体材料の分析等を通 じて、高性能・高品質化に寄与しています。

一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会 会員一覧

福岡県

株式会社ISSリアライズ 福岡支店
株式会社アサカ理研
アスカコーポレーション株式会社
アドバンスマテリアルズテクノロジー株式会社
株式会社アドバンテスト
アマノ株式会社 福岡支店
有明技研株式会社
有明工業高等専門学校
株式会社アルプス技研 福岡営業所
株式会社アルプス物流 福岡営業所
飯塚市
岩崎電気株式会社 アイグラフィックス社 福岡営業所
インターテック ジャパン株式会社 福岡大牟田試験所
エア・ウォーター西日本株式会社 九州支社
SKソリューション株式会社
エスベックアシスト株式会社
NX商事株式会社 九州LSセンター
株式会社エヌエフティ
エレマテック株式会社 福岡支店
株式会社エンプラス半導体機器 九州営業所
オルガノ株式会社 九州支店
株式会社カシワ
株式会社カナデン 九州支店
株式会社関電工 西日本営業本部 九州支店
北九州工業高等専門学校
公益財団法人 北九州産業学術推進機構
北九州市
北村化学産業株式会社 福岡営業所
QEI株式会社
九州工業大学
九州産業大学
九州西濃運輸株式会社
公益財団法人 九州先端科学技術研究所
九州大学
株式会社九州日新
九州日東精工株式会社
九州三菱電機販売株式会社
九州リオン株式会社
Qsol株式会社
近畿大学 産業理工学部
株式会社近鉄ロジスティクス・システムズ 福岡営業所
株式会社熊本精研工業
久留米工業高等専門学校
株式会社クレオ
計測エンジニアリングシステム株式会社
興研株式会社 九州営業所
株式会社コベルコ科研 九州オフィス
株式会社サニクリーン九州
株式会社ジューダット 福岡事業所
シービーアールイー株式会社 福岡支店
株式会社JCU 九州営業所
Japan Quality株式会社
株式会社商工組合中央金庫 福岡支店
株式会社昭和電気研究所
シンデン・ハイテックス株式会社
株式会社新菱

株式会社スギノマシン
正晃株式会社
ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 福岡事業所
株式会社ソフトサービス
第一実業株式会社 福岡支店
株式会社大気社 九州支店
大光炉材株式会社
大成建設株式会社 九州支店
株式会社ダイゾー ニチモリ事業部 九州営業所
大同DMソリューション株式会社 九州北営業所
大日本印刷株式会社
大陽日酸株式会社 九州支店
株式会社タケシタ
株式会社たけびし 九州支店
株式会社ダン・タクマ 九州支店
TG Japan株式会社
株式会社テクノア 九州支店
株式会社テクノアソシエ 福岡営業所
東亜電気工業株式会社 福岡営業所
株式会社東京ダイヤモンド工具製作所
東芝情報システム株式会社 九州支店
トーカロ株式会社 北九州工場
株式会社豊通マシナリー 九州支店
西日本工業大学
株式会社西日本シティ銀行 法人ソリューション部
日総工業株式会社 福岡営業所
ニッタ株式会社 福岡営業所
日本通運株式会社 福岡支店
日本エアーテック株式会社 九州営業所
日本測器株式会社 久留米営業所
日本ファインテック株式会社
ヴァイサラ株式会社
パーソルキャリア株式会社 九州オフィス
パーソルクロステクノロジー株式会社
株式会社羽野製作所
株式会社ピーエムティー
株式会社日立ハイテック 九州支店
株式会社日立プラントサービス 九州支店
平井精密工業株式会社
株式会社平山GL
株式会社福岡銀行
福岡県
公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団
福岡工業大学
福岡市
福岡大学
フジアルテ株式会社
株式会社プラスPM
藤森工業株式会社 九州営業所
豊洋精工株式会社 福岡工場
株式会社マイナビ 福岡支社
株式会社マイナビEdge 九州営業所
マクセル株式会社ライフソリューション事業本部
松田産業株式会社 福岡営業所
マトリクス・エスディ株式会社
三浦工業株式会社 福岡支店
三菱電機株式会社 九州支店

三菱電機システムサービス株式会社 九州支社
三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所
室町ケミカル株式会社
メルコヒューマンポート株式会社 九州支店
八洲貿易株式会社 九州支店
株式会社安川電機
安川メカトロニック末松九機株式会社
山口大学大学院 技術経営研究科
ヤマトマテリアル株式会社
株式会社ユーエスアイ
横河ソリューションサービス株式会社 北九州支店
吉川工業株式会社
吉塚精機株式会社
リクルーティング・パートナーズ株式会社
理研計器株式会社 福岡営業所
リックス株式会社
株式会社リベル
株式会社リボラス
株式会社RYODEN 西日本支社
ローム・アポロ株式会社
ロジスティード九州株式会社
株式会社ロジック・リサーチ
株式会社ワールドインテック
早稲田大学 大学院

佐賀県

アシック株式会社
共立エレクトロニクス株式会社
佐賀県
佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター
佐賀大学
株式会社SUMCO 九州事業所
国立研究開発法人 産業技術総合研究所九州センター
田口電機工業株式会社
ニシハラ理工株式会社 佐賀工場
日清紡マイクロデバイスAT株式会社
日本タンブステン株式会社 基山工場

長崎県

アイティーアイ株式会社
イサハヤ電子株式会社
株式会社ウラノ 長崎工場
エア・ウォーター株式会社 長崎ガスセンター
カンケンテクノ株式会社
KMT株式会社
佐世保工業高等専門学校
JDC株式会社
株式会社システック井上
株式会社十八親和銀行
新生電子株式会社 佐世保工場
伸和コントロールズ株式会社
東京エレクトロン デバイス長崎株式会社
長崎県
長崎大学
NITTOKU株式会社 長崎事業所
マコー株式会社 長崎事業所
メルコアドバンスデバイス株式会社

熊本県

赤山学園 九州技術教育専門学校
株式会社アスカインデックス
アルバック販売株式会社
株式会社インターテックエンジニアリング
インフィコン株式会社 九州営業所
NECプラントエンジニアリング株式会社
株式会社荏原製作所 熊本事業所
MDロジス株式会社 熊本事業所
応用電機株式会社
株式会社大津テック
株式会社オジックテクノロジー
株式会社九州C・I・C研究所
九州電子株式会社
九州日誠電気株式会社
株式会社くまさんメディクス
株式会社熊本銀行
熊本県
一般社団法人 熊本県工業連合会
熊本高等専門学校
公益財団法人 くまもと産業支援財団
熊本大学
熊本防錆工業株式会社
栗田工業株式会社 熊本営業所
株式会社GSIクレオス
一般財団法人 材料科学技術振興財団
櫻井精技株式会社
シナジーシステム株式会社
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社
株式会社スリーデザイン
崇城大学
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
大東商事株式会社
東京エレクトロン九州株式会社
西川計測株式会社 西九州支店 熊本営業所
株式会社西村ケミテック
日研トータルソーシング株式会社 熊本事業所
日精電子株式会社
株式会社野毛電気工業 九州事業部
株式会社肥後銀行
平田機工株式会社
株式会社藤興機
株式会社フジワーク
株式会社プリバテック
株式会社堀場アドバンステクノ 九州中央セールスオフィス
株式会社マイスタア

大分県

株式会社ウエキコーポレーション
株式会社AKシステム
株式会社AK電子
エスティケイテクノロジー株式会社
株式会社エリア
大分県
大分県LSIクラスター形成推進会議
大分工業高等専門学校
大分大学 理工学部

大分デバイステクノロジー株式会社
大分電子工業株式会社
株式会社九州セミコンダクターKAW
株式会社佐々木精工
株式会社ジャパンセミコンダクター
株式会社スズキ
株式会社TMH
株式会社デンケン
株式会社ネオス
株式会社ネットワーク

宮崎県

旭化成エレクトロニクス株式会社
旭化成マイクロテクノロジー株式会社
えびの電子工業株式会社
株式会社エフオーテクニカ
株式会社システム技研
株式会社清和金属製作所
三井化学EMS株式会社
宮崎県
宮崎大学
吉玉精鍛株式会社
ラピスセミコンダクタ株式会社

鹿児島県

稲畑産業株式会社 九州営業所
鹿児島県
鹿児島大学
キリンシマ精工株式会社
クルーシャル・ワーリング・パフォーマンス株式会社
フェニテックセミコンダクター株式会社 鹿児島工場
株式会社藤田ワークス

その他の都道府県

株式会社アウトソーシング
株式会社アサダメッシュグループ本社
株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン
イーヴィグループジャパン株式会社
ETロボコン実行委員会
株式会社イーピーイ
株式会社イノベント
ウィンボンド・エレクトロニクス株式会社
SGSジャパン株式会社
株式会社エムトピア
特定非営利活動法人 LPI-Japan
大宮化成株式会社
キャディ株式会社
株式会社クオルテック
株式会社クリエイティブテクノロジー
国際ビジネスコンサルティング事業協同組合
コクネ製作株式会社
佐川グローバルロジスティクス株式会社
株式会社産業タイムズ社
三洲電線株式会社
CCTECH JAPAN株式会社
株式会社SEALS
JSR株式会社

JFEテクノリサーチ株式会社
ジオマテック株式会社
株式会社シキノハイテック
芝浦エレテック株式会社
株式会社ジャパンクリエイイト
ジャパンコーヨン株式会社
神鋼商事株式会社
株式会社人財ソリューション
スペクトロニクス株式会社
SEMIジャパン
株式会社ダイコーテクノ
大和化学工業株式会社
辰野株式会社
株式会社地圏環境テクノロジー
株式会社DNPエル・エス・アイ・デザイン
TN&T Solutions 合同会社
株式会社テラプローブ
東京ドロウイング株式会社
東洋ワーク株式会社
株式会社トヨックス
ナグモ産業株式会社
鋼林株式会社
株式会社ニチワ工業
日新運輸工業株式会社
日本スウェージロックFST株式会社
株式会社日本ケイテム
一般社団法人 日本電子デバイス産業協会
日本徳森精密株式会社
株式会社日本マイクロニクス
株式会社ハイテック・システムズ
一般社団法人 パワーデバイス・イネープリング協会
一般社団法人 半導体産業人協会
ピーアイ・ジャパン株式会社
株式会社ビーネックステクノロジー
株式会社ビレッジアレイ
ヒロホー株式会社
フォームファクター株式会社
藤倉コンポジット株式会社
株式会社堀内電機製作所
三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社
三井不動産株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
三ツ星ベルト株式会社
株式会社山忠商会
ヤマト運輸株式会社
菱洋エレクトロ株式会社
六甲電子株式会社

(注)個人会員及び掲載不可の会員を除く

事務局便り

会員の皆様には平素よりSIIQ運営、事業にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年6月、「半導体・デジタル産業戦略」策定以降、SIIQに対する期待は高まり、人材派遣、商社、物流・倉庫、金融など周辺業種も含めた入会会員数は毎年30会員を超え、現在では340会員を超える規模に成長致しました。

一般社団法人として独立2年目を迎えた2024年度は、会員の皆様のご期待に沿った事業として、「SIIQ会員交流会」、「ミートアップ事業」、「チャレンジマーケット2024」などを展開するとともに、「九州半導体人材育成等コンソーシアム」の共同事務局として、人材育成ワーキンググループ、サプライチェーン強靱化ワーキンググループの運営にも尽力してまいりました。

また、SIIQに対する多方面からの期待にしっかり応えていくため、SIIQの機能強化対応に努めてまいりました。

まずは、「タスク・フォース」を立ち上げ、SIIQの在り方、事業内容、体制等について議論し、SIIQは「プラットフォーム機関」として、地場中堅・中小企業を中心に会員間を「繋ぐ」取組を進めるとともに、「九州半導体人材育成等コンソーシアム」事業をSIIQがすべき事業として、九州半導体ビジネスの活性化と産業基盤強化に努めてまいることを確認致しました。

また、事務局体制の充実が図れるよう、その器となる事務所を、博多駅南に移転し、事務スペースを拡大するとともに、会議スペースも2室に増やし、大人数の来客や同時来客にも対応できるように致しました。

このほか、事務局体制の強化として新たに常勤理事を配置し、また、今後の事業拡大に対応していくため、メインバンクに融資枠の設定を行いました。

事務局といたしましては会員の皆様が対面でお会いできる機会を増やし繋ぐことで、今後も会員の皆様の更なる発展に貢献すべく努めてまいりますので、引き続き、ご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

(SIIQ事務局)

SIIQ事務局紹介

理 事  藤井 博信 趣 味：痕跡探求 SIIQのプレゼンスを高め、九州半導体関連産業の発展の一助となるよう尽力します。 (経済産業省 九州経済産業局出身)	事務局長  古賀 幸治 得意分野：経営企画 趣 味：家庭菜園 魅力的な企画ができるよう頑張ります。 (ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)からの出向)	コーディネーター  神田 誠 得意分野：半導体組立技術 趣 味：ゴルフ 会員の皆様のお役に立てよう頑張ります。 (三菱電機(株)からの出向)	コーディネーター  佐藤 順一 得意分野：半導体デバイス 趣 味：ジョギング、音楽鑑賞 会員様のさらなる発展に寄与できるよう努めます。 (ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)からの出向)
コーディネーター  松尾 伸也 得意分野：半導体後工程 趣 味：模型製作 九州半導体関連企業の発展の一助に努めます。 (日清紡マイクロデバイスAT(株)出身)	アシスタントコーディネーター  折久木 志帆 趣 味：ドラマ鑑賞 会員の皆様のご期待に添えますよう頑張ります。 ((株)ワールドインテックからの出向)	事務担当  永田 理恵 迅速、丁寧な対応で、会員の皆様のお役に立ちます。	事務担当  足柄 知佳 縁の下の力持ちになれるように頑張ります。

●詳細情報は右記ホームページから

WEBで検索
SIIQ
検索
<https://www.siiq.or.jp>

当会報誌掲載情報についてのお問い合わせは SIIQ 事務局まで

●一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会 会報
[SIIQ PRESS Vol.34] 2025年3月 発行

●発行・編集：一般社団法人九州半導体・デジタルイノベーション協議会
Tel. 092-473-6649 E-mail : info@siiq.or.jp